

第38回旭志元旦マラソン大会

1月1日(元旦)

恒例となった旭志元旦マラソン大会が、旭志総合支所をスタート・ゴールで行われました。コースは3キロと7キロの2コースに、子どもから大人まで幅広い世代の参加がありました。今年は昨年よりも参加者が増え、親子での参加が多く、菊池市外から参加される人も多数見られました。

当日は、朝から晴れ間がみえ、131人の参加者は、一年の健康と繁栄を祈願し、寒さに負けず元気に完走しました。上位の結果は次の通りです。(敬称略)



トラ年にちなんだ衣装の参加者

3キロコース

優勝 澤山哲弥(旭志中・12分19秒22)
2位 澤山純弥(旭志中・12分19秒59)
3位 藤島健太郎(隈府小・13分14秒)
女子の部 三池 梓(旭志小・13分22秒)

7キロコース

優勝 田中正章(菊池市・21分37秒)
2位 大村岩四郎(菊池市・23分03秒)
3位 三木正昭(菊池市・23分11秒)
女子の部 渡邊好美(菊池市・29分19秒)

成人おめでとう!平成21年度菊池市成人式

1月10日(日)

菊池市成人式が菊池市文化会館でありました。今回の対象者は平成元年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた人たちで、682人が大人の仲間入りをしました。式典では、菊池農業高等学校豊饒太鼓部による演奏に続き、福村市長より「現在はたいへん厳しい社会情勢にあり、自らの力で切り開いて欲しい」との激励があり、続いて中学校時代の恩師による「お祝いの言葉」、新成人による「二十歳の誓い」や交通ルールを守り安全安心のまちづくりを誓う「交通安全宣言」が行われました。「二十歳の誓い」では、中野麻由子さん(☉ 高野瀬)と富岡恒太さん(☉ 北宮)が、家族や友人などへの感謝の言葉を述べ、今後は夢を実現し社会人として貢献していくことを誓いました。



式典に参加する新成人

成人式は新成人の有志からなる実行委員会のメンバーが中心となり、司会進行なども実行委員会メンバーが行い、新成人にふさわしい式典となりました。またこの日は、青年団の運営業務や日本和装学園ボランティアの着物着くずれお直しなどのご協力をいただきました。

第2回「菊池ふるさとかるた大会」開催

1月16日(土)

菊池市青少年育成市民会議では、菊池市内に点在する名所・旧跡などのさまざまなお宝を題材とした「菊池ふるさとかるた」の啓発活動として、第2回菊池ふるさとかるた大会を、菊池市文化会館で開催しました。

当日は、高学年の部と低学年の部に分かれ、市内11校の小学校児童66人と、青少年育成推進員OB会の6人が、日ごろの練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。競技が進められるにつれて、応援のため会場に見えた保護者の熱も上がり、会場は終始大歓声に包まれていました。

上位の結果は次のとおりです。(敬称略)

高学年の部

優勝 旭志小学校 準優勝 水源小学校 3位 泗水小学校

低学年の部

優勝 龍門小学校 準優勝 水源小学校 3位 泗水小学校



熱戦を繰り広げる子どもたち

スリランカの子どもたちに学用品を

12月25日(金)

スリランカの子どもたちへ贈る学用品の贈呈式が泗水中学校(二殿一身校長)でありました。これは平成20年度の子ども議会で「自分たちが当たり前にしていくものも、世界の子どもを幸せにしてくれるのではないか」という意見が出たことから、菊池国際交流協会(杉田貞治会長)が各中学校に不要になった学用品の収集をお願いしたものです。

同中学校からも、生徒の代表から「ぜひ有効に活用してください」と手渡されました。



生徒の代表から学用品を受け取る杉田会長(左)

平成22年菊池市消防団出初式

1月17日(日)

菊池市消防団の出初式が、菊池市多目的グラウンドでありました。

村上忠吉団長を先頭に副団長、分団長の順で、積載車による行進を行い、福村市長がその勇姿を観閲されました。

加藤浩行副団長の総指揮の下、1,500人の団員が力強く入場行進して開会行事があった後、2列に整列して服装などを点検する「通常点検」や、各分団からのカラフルな一斉放水などで団員は日ごろの訓練の成果を存分に披露しました。

また、福本保育園、第二幼楽園、双羽幼稚園の幼年消防クラブによる元気いっぱいの鼓笛演奏や通常点検、そして水源小学校、七城小学校、七城中学校の少年消防クラブによる通常点検もあり、観客から



通常点検で優勝した旭志方面隊第18分団

大きな拍手が送られました。通常点検競技の上位の結果は、次のとおりです。

優勝 第18分団(旭志方面隊)、**2位** 第20分団(泗水方面隊)、**3位** 第14分団(七城方面隊)、第8分団(菊池方面隊)

市民の生命、財産を火災や災害から守るために活動している菊池市消防団に、今後とも市民の皆さんのご声援とご協力をお願いします。



元気な声で通常点検をする第二幼楽園の園児たち